

# Secure Access for Office 365

Office 365のデータ保護を確実化し、  
オンプレミスからクラウドへの移行を簡素化

- Office 365へのアクセスを管理対象デバイスだけに制限
- Officeアプリケーションにアクセスするためのパスワード登録が不要
- Microsoft Active Directoryとの統合

## モバイルとクラウドのための刷新

Pulse Secure Advanced Suiteは、Office 365やモバイルアクセスによるネットワークの利用を簡単かつシンプルに刷新します。

Advanced SuiteにはPulse Connect SecureとPulse Workspaceが含まれており、あらゆるモバイルアプリケーションに対して、BYODコンテナを用いたポリシーベースの接続性を提供します。Pulse Workspaceは、iOSデバイスとAndroidデバイスに対応。ユーザーにすべてのOffice 365アプリケーションへのモバイルアクセスを提供。さらにSalesforceやBoxなどのクラウドサービスとも、同様の連携を行います。Pulse Secure Advanced Suiteにより、ラップトップとモバイルデバイスを用いて、Office 365とデータセンターにあるアプリケーションの双方にアクセスする際の、単一のセキュリティソリューションがもたらされます。ラップトップやモバイルデバイスによる、Office 365やデータセンターアプリケーションへのセキュアなアクセスに欠かせない統合ソリューションです。



## 解決される課題

### データの漏洩

企業が承認した正しいユーザーであっても、自宅のPCなど許可されていないデバイスを使用して、機密メールやコンテンツをダウンロードした場合、コンプライアンス違反になりえる。

### パスワードの問題

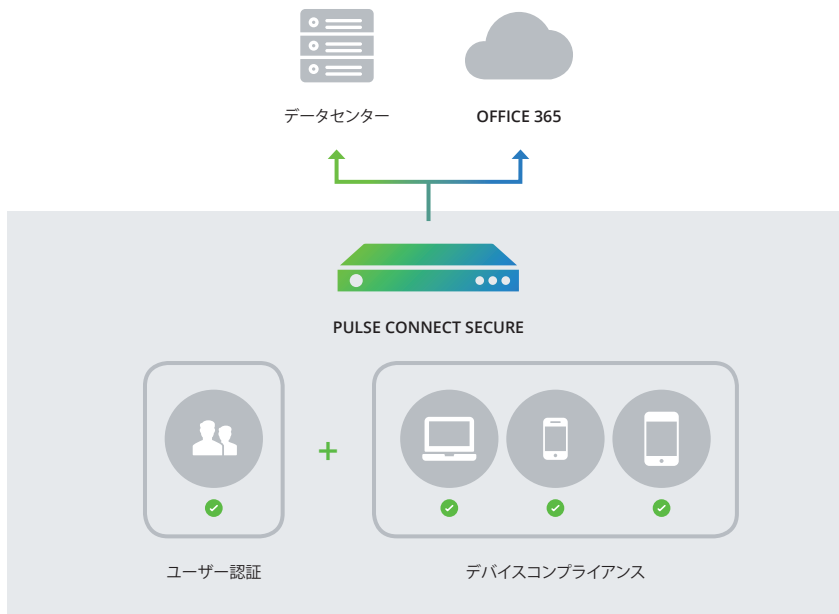
数多くのパスワードがもたらす複雑さや、定期的に要求されるパスワード更新ポリシーなどによって生じるヘルプデスクコールのコストは、一人当たり179ドル/年になる (Forrester社の調査より)

### Active Directoryとの統合

社内リソースへのアクセスのために、現在、利用中のユーザーディレクトリをクラウドへのアクセスにおける認証にも拡張することが、重要課題となる。

## パルスセキュアの既存のセキュリティポリシーをOffice 365に適応

パルスセキュアがデータセンターへの安全なアクセスのために提供する、強力な認証システム、状況に応じたアクセス制御、ホストチェックなどの優れたセキュリティが、Office 365やその他のクラウドサービスに対して活用でき、クラウドへの移行を簡素化します。ID管理、デバイスコンプライアンス、モバイルセキュリティのためのオールインワン・ソリューションとして、高い安全性を保ちながら、使い方は実に簡単です。



### ソリューション要件

#### セキュアアクセス・アプライアンス

物理アプライアンス、または仮想アプライアンスが必要

#### モバイルセキュリティ

モバイルデバイスは、Pulse Workspace または既存のEMMと統合したソリューションで保護

#### Active Directoryとの統合

Pulse Connect SecureをOffice 365用のIDプロバイダとして使用、もしくはADFSと連携して使用

#### モバイルデバイス

Pulse Workspaceは、iOS 7以降およびAndroid 5.0以降 (work profile support 含む) で動作

## 利点



### 柔軟なクラウドサービス対応

Office 365、Microsoft以外のSalesforce、Box、Concur、Dropboxなどへの安全なアクセスを提供



### ユーザーの生産性

Word、Powerpoint、ExcelなどOffice 365が提供するモバイルアプリケーションをそのまま活用できるため、ワーカーの生産性が向上



### コンプライアンスの自動化

コンプライアンスに準拠したデバイスを使用する正しいユーザーだけが、クラウドまたはデータセンター内のアプリケーションやサービスにアクセス。これによりデータ漏洩を防止



### 容易にBYODコンテナを配信

個人のモバイルデバイスを使って仕事ができ、ユーザーのプライバシーを損なうことなく、必要に応じてビジネスデータのみを消去。その際、個人のアプリケーションやコンテンツに影響を与えることも回避



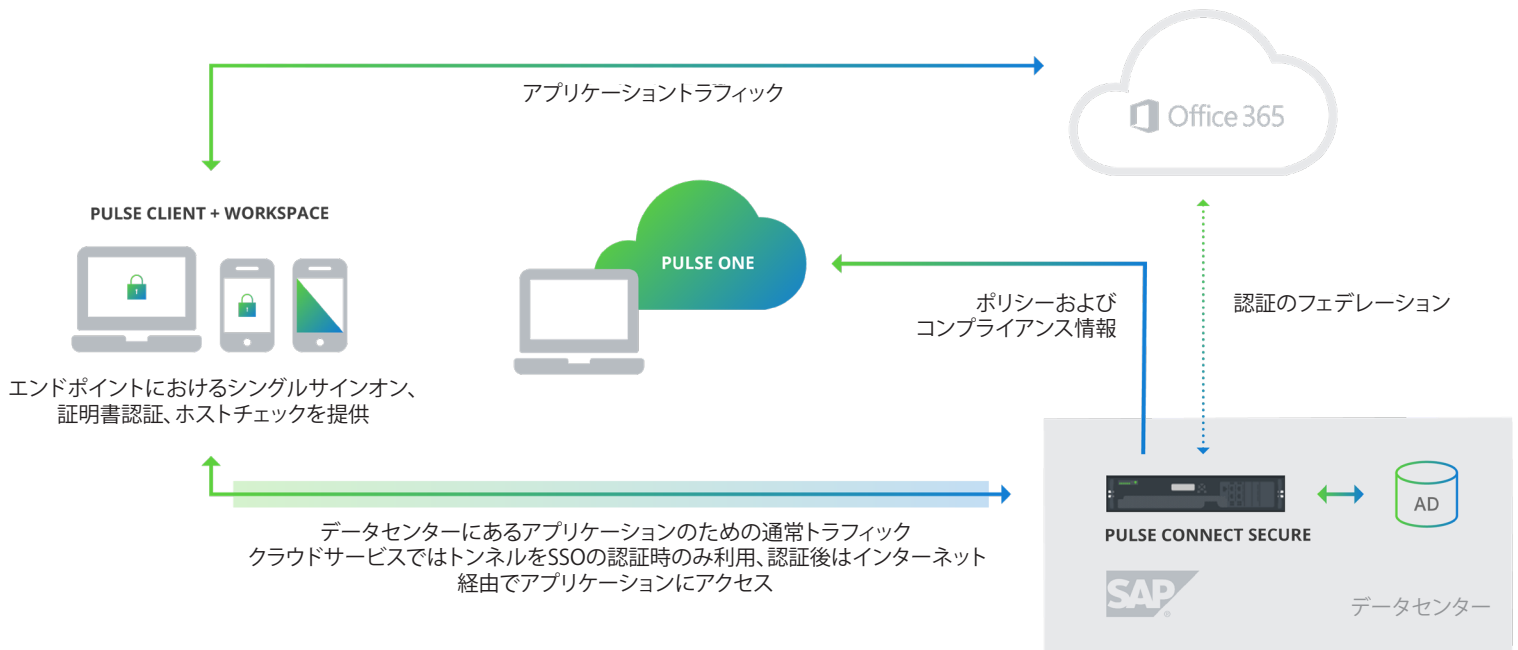
### パスワード不要

証明書認証を使用したシングルサインオンにより、多くの異なるパスワードを使用することによるユーザーの混乱を解消



### シンプルなオンボーディング

事前のキッティングが不要なセルフサービスオンボーディングは、eメール、VPN、WiFiアクセスなどの設定を自動的にプロビジョニング。アプリケーションはグループポリシーに基づいてユーザーの端末にプッシュ配信



## どのように動作するか

モバイルデバイスを管理するPulse Workspaceは、Pulse Oneコンソールから管理します。モバイルデバイスの自動プロビジョニングを求めるメールが、各ユーザー宛に配信されます。ネイティブのメールクライアントは、ユーザー名とPulse Oneによって生成された任意のトークンを使用してExchange Onlineに接続するよう、自動的にプロビジョニングされます。Pulse Connect Secureアプライアンスは、SAML ECP経由でOffice 365と連携します。ログイン要求を受信すると、Office 365は認証をPulse Connect Secureに委任します。Pulse Connect Secureは、ユーザー情報をActive Directoryと照合し、Pulse Oneは、デバイスのセキュリティ状態をチェックします。メールとデータは、デバイスの標準メールクライアントとOffice 365間で、直接送受信されます。

### セルフサービス・プロビジョニング

ユーザー単位にメール、VPN、およびWi-Fi設定を自動化することで、ヘルプデスクへの問い合わせが削減されます。

### シングルサインオン・アクセス

証明書ベースの認証とシングルサインオンにより、ユーザーはOffice 365やその他のSAMLに対応したクラウドサービスに簡単にアクセスします。

### BYODコンテナ

AndroidおよびiOSのコンテナセキュリティは、データの暗号化、アプリケーションのデータ共有の制御、不要となったデータのみを選択と消去、アプリケーションによって異なる接続ポリシーに対応します。

### アイデンティティ管理

既存のActive Directory機能を活用して、Office 365やその他のクラウドサービスへのアクセスを制御します。Microsoft ADFSに加えて、Ping、OktaなどのIDプロバイダとの統合も可能です。

### ホストチェック

コンプライアンスの実施により、安全なデバイスだけが、Office 365やその他のクラウドサービスにアクセスできるようになります。ホストチェックはサードパーティのIDプロバイダでも使用できます。

### モバイルアプリケーション管理

Word、Powerpoint、Excelなどのアプリケーションはポリシーに基づいてプッシュ配信されるため、さまざまな手続きが不要となり、ユーザーの生産性が向上します。